

進路だより

山梨県立ろう学校
進路指導部通信 No. 4
2024年2月22日発行

高等部「現場実習等報告会」

高等部では、今年度実施した現場実習や会社見学・体験等における「働く」体験をとおして、感じたことや考えたこと、自分の課題などについての報告会を行いました。

1年生は、初めての实習において「働くということについて知る」「あいさつや返事をしっかりする」「最後までしっかりと働く」という目標を立て実習を行い、働くことの厳しさや大変さを知ることができました。また、「挨拶や返事の声が小さかった」「長時間集中して働くことが大変だった」と反省することができました。時間を守ることの大切さや仲間と協力することの大切さについても学ぶことができたようです。

2・3年生は実習をとおして学ぶことがたくさんありました。周囲の状況や他の人の仕事の進め方を見て、自分の作業を進めてよいか判断しながら仕事を進めることができた生徒、「データ入力を早くする」と目標を立てましたが、実際には氏名や住所などを入力することがおずかしく、職場の方のように仕事を進めることはできなかったと反省した生徒、実習をとおして普段の生活からあいさつや報告・相談、整理整頓等の当たり前のことをできるようにすることが大事だとわかった生徒など、学びの深さが伝わってきました。また、「職場の方のことを知り、どんな人とも接することができるようにしたい」と、就労に向けて前向きに捉えることができた生徒もいました。



中学部「総合的な学習の時間」発表会

総合的な学習の時間において、「進路について」「夢について」調べたことをまとめました。発表会では、自分の将来について考え、調べたことやインタビューしたこと、見学したことなどをとおして、まとめたことを発表することができました。将来の夢において、中学部卒業後の進路先について考え、希望する学校を調べることができたり、将来自分になりたい職業をしている人にインタビューして詳しく知ることができたり、多くの学習をすることができました。これらの学習をとおして自分の将来を具体的に考え、現在の自分の課題をみつめ、どのように学習や生活をしていけばよいのかを考えることができました。

